

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 術後せん妄を発症した高齢消化器がん患者の術後理学療法経過の特徴

[研究責任者] 医療技術局リハビリテーション室 笥明夫

[研究の背景]

術後せん妄（手術により身体的負担がかかった時に生じる意識の混乱）は入院日数の増加や死亡率の増加など、様々な不良な結果につながる可能性が報告されており、せん妄の重症化予防はそのような不良な結果を改善するための一助となる可能性があります。しかしながら、術後せん妄に対する重症化予防としての理学療法の効果を調査した研究は少ないです。

[研究の目的]

本研究では、80 歳以上で消化器がん（食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肝臓がん、胆のうがん、胆管がん、膵臓がん）に対する手術を受けた後に術後せん妄を発症された方の術後の理学療法経過の特徴を調査し、術後せん妄に対する効果的な術後の理学療法を探索することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

80 歳以上の消化器がん（食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肝臓がん、胆のうがん、胆管がん、膵臓がん）の患者さんで、西暦 2022 年 6 月 1 日から西暦 2024 年 1 月 31 日の間に手術治療を受けた方

●研究期間：西暦 2024 年 6 月 21 日から西暦 2025 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：術後せん妄の有無、診断名、年齢、性別、身体所見、がん関連情報、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査）、手術情報、化学療法に関する情報、入院中のリハビリ経過、栄養関連情報、身体機能評価

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。情報は、電子データとしてファイルにパスワードロッ

クをかけた状態でメールを用いて提供されます。

●研究代表者 医療技術局 リハビリテーション室 正理学療法士 笥 明夫

●その他の共同研究機関 名古屋大学医学部保健学科

研究責任者 教授 杉浦 英志

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は名古屋大学大学学位論文で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局リハビリテーション室 笥 明夫

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913